

ASA  
大田中央

ASA  
東大井

Presents

2007.9月

ASAスタッフは町歩き達人でもある。朝日新聞販売店発近所散歩ミニミニ

# 町歩き目的

No.5  
(毎月25日発行)

1



①ここが噂のお豆腐屋さん！ やってきました、評判の「近藤豆腐店」さんへ。青い瓦屋根にタイル貼りの店構えは、昭和9年の創業以来の変わらぬ佇まい。念願のお豆腐は、大豆の味がしっかり残った、何度でも食べたくなる昔ながらの味。「手を抜かないのがおいしさの秘訣」と、豆腐作り30年以上というおかみさん。大豆は水が澄んでくるまでしっかり研ぐ、などひとつひとつの手間を惜しまない。その集大成が長年愛されるお豆腐を生み出しているのだった。

大田区中央のS.Eさん他、この

お店を教えて下さったみなさま、ありがとうございました！

近藤豆腐店  
大田区池上4-3-9

## 気になる店に入る

今回は読者の方から「オススメのお店として」も推薦のお店としていただいた、池上4丁目「近藤豆腐店」さんと、その周辺に足をのびしてみました。

②お客さんは次々と「ここのお豆腐のファンなの」と、横浜から買いに来ている常連さん。他にもお豆腐を求め、お客さんは途切れることなく訪れていた。



③お豆腐屋さんのそばに残る六郷用水跡  
近藤豆腐店の向かい側にある緑道。そこは六郷用水の跡地だった。かつて徳川家康が多摩川北岸の世田谷領・旧六郷領まで掘った灌漑水路で、明治時代までは農業用水として使われていた。今は緑の多い散歩道となっている。



### ④北欧のコテージ？

緑道から一歩外れた住宅街で、ひっそり現れた一際目立つ洋風のお店。ヨーロッパ直輸入の服や雑貨を、27年以上も池上から発信しているケテルさんのブティック「ミリアムズ・コテージ」だ。日本にはない色合いやデザインなど、ここでしか手に入らない服も多いとか。  
ミリアムズ・コテージ 大田区池上4-5-12



「堤方の八寸」と呼ばれる所。六郷用水の北堀は、ここから大森・蒲田方面、新井宿方面、女塚方面の3つに分かれていました。

黒ネコの親子に時々会えます。

「ミリアムズ・コテージ」洋風のコテージのような素敵なお宅。

アパートと民家に囲まれた行き止まりの道。お母さん達の井戸端会議スポット！





5

⑤住宅街の道を行く

さほど広くない道幅。家々の塀を乗り越えてきそうな庭木。生垣のスキマに生える草。そんな気取らない街並みが続く。



6

⑥天狗堂...? また気になるお店! と、心躍らせたのは「天狗堂」なる看板。しかし残念、閉店したタバコ屋兼駄菓子屋さんの名残だった。今は別の会社が入っているのだとか。



7

⑦緑のアーチに、また立ち止まる

小さな白い花々と緑に囲まれた一角は実はお店の入口。ステンドグラス風のドアを開けると、「いらっしやいませ〜!」と、お店のみなさんの明るい声。さっそくランチを頼んでみると、次々と運ばれてくる料理の数々。「お客さんに損したとは思われたくないの、お腹いっぱい食べて欲しい」と、きつぷのいいオーナーの高橋さん。味もボリュームも満点のランチだった。

⑧残暑の中

電線まで届きそうなヒマワリが、少し重そうに花を咲かせる。

⑨子ども達は夏休み

池上通りをプールの帰りの子ども達が全力疾走で横切っていた。



8

日替わりランチ1260円

これだけついて一人前! 鮎のカマ焼き/カレイの甘酢あんかけ/たからはこ(高野豆腐にきくらげやハモのすり身をはさんだ煮物)/ポテトサラダ/小松菜と人参のゴマ和え/お刺身4種盛り/野菜たっぷり味噌汁/七福米(ひえやあわ入り白米)/スイカ/珈琲

「旬味庵 ゴンジャ」

大田区池上4-17-4

昼は日替わりランチのみ

夜は割烹料理になります。

12:00~15:00、

17:30~23:00 月休



9



10

⑩店主はペーゴマ名人だった!

池上通りの、いかにも時代を感じる文具屋さん。その店先で、ペーゴマとローセキを発売! 「僕が小さい頃本当によく遊んだ思い出の品なんで、ずっと店に出していたんだよ」と、今年78歳になる、店主の岡田さん。シュツと鮮やかな手つきでペーゴマを回すと、生き物のように回り始める。オカダヤ 大田区池上5-12-2  
お店の数、出会う人の数だけ発見のあった今回の町散歩。初めて入るお店には少しばかり勇気がいる。だけど、お店を後にする時にはきっと笑顔だ。



50年位前の「クロレラ」の看板が今も残るお米屋さん。

このまま道なりに呑川を渡ると111段の石段がある妙見堂まで行けます。

この先、池上本門寺の正門、そして此経難持坂に続きます。

元「天狗堂」さんのお店の前は、お花や野菜の鉢植えがいっぱい並んでいます。

池上通り

車通りが多いので横断注意!

※次回は、「白田坂」界隈を散策する予定です。